

花を咲かそう — 檀信利生 教えは誰の為に — (七版)

世間の秤 役立つ立たぬ

人の評判されるもするもさらに損得苦楽あり

世知の辛さに挫けずに

限りを出でた心に立たん

比べねば已に咲きたる我らなり

咲かせたまこと受けたる縁

つぼみは誰が咲かすべき

思いのたけは言の葉伝う思い遣るのも

励ますも尚き心を育まん

行い単に彼のために返るものなど希わずも

自然に清き酬いあり

我他彼此なくば良いとは言いが

言つて放つは情なき言うこと同じ異なり何処

潜み入りたる限りなり

具わり証かさん願いに生きん

まこと咲かさん皆ともに

宮城県大崎市 瑞川寺住職 木村謙文